

# 安倍政権NO!

# 力あわせ、 未来ひらく。日本共産党

7月  
参院選  
参議院議員選挙



3月29日、日本を戦争する国につくりかえる安保法制=戦争法が施行されました。

憲法をふみにじって戦争への道をすすむのか、それとも9条をまもり、

個人を尊重する政治をめざすのか——この夏の参院選には、日本の命運がかかっています。

## 安保法制廃止、「野党共闘」始動

### ▶▶ 主権者が政治を動かす新しい時代がはじまった

2月19日、当時の野党5党（共産、旧民主、旧維新、社民、生活）は、「戦争法廃止」「立憲主義回復」の一点で選挙協力にふみだすことを合意。自民・公明・おおさか維新を少数派においこむ「野党共闘」が始動しています。

「だれの子どももころさせない」（ママの会）「言うこと聞かせる番だ、俺たちが」（SEALDs）——市民運動が野党の背中をおし、「野党の選挙協力」をつくりだす原動力となりました。

## 政治を変えるチャンス到来

### ▶▶ 対決構図は「自公勢力」vs「野党+市民」

こんどの選挙は、「一強自民 vs バラバラの野党」などではありません。対決構図はガラリと変わり、「自公+補完勢力 vs 野党+市民」に。共産党的対応には、「朝日」コラムをはじめ多くのメディアが注目しています。

野党が結束し、市民運動の方がたと共同して力をつくせば、参議院で与野党逆転を実現できます。政治を変える絶好のチャンスです。

日本共産党は、野党勝利に全力をつくします。安倍政権に対決し、新しい政治ひらくもっともたしかな力=共産党的議席を大幅にふやすためにがんばります。

#### 5野党党首会談での確認事項

- 1 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする
- 2 安倍政権の打倒をめざす
- 3 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数においこむ
- 4 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を



日本の未来に  
希望もてた

作家・僧侶

瀬戸内寂聴さん

近頃若い人たちがいいですね。彼らには共産党への偏見などない。未来は若者のものです。こういう時、野党が団結したことは歴史的意味がある。日本の未来に悲観的になっていた93歳の私も、希望がもてるようになってきました。



野党を後押し  
し続ける

上智大教授

中野晃一さん

国民の安保法制反対、立憲主義をまもろという声にこたえて共産党がイニシアチブをとり、こういう形で報われる方向になってきました。私たちも野党に期待するだけではなく、尻もたたいて後押しをし続けることが主権者としては重要です。



#### 「朝日」天声人語（2月24日付）

共産党は、参院選の1人区で多くの独自候補を取り下げる方針を決めた。野党各党の票が一本にまとまれば影響は大きい▼「野合」批判もあるだろうが、「立憲」という大義は小異を捨てるに値する。憲法論議を真摯に深めるためにも、損なわれてしまった土俵を修復することが先決ではないか。

【写真上】そろってコールする4党の代表=2015年9月14日、国会正門前 【写真下】「安倍首相はやめろ」「野党は共闘」と、繁華街をアピールしながら行進する人たち=2016年2月14日、東京都渋谷区

## 戦後はじめて、自衛隊が 「殺し、殺される」危険

戦争法廃止は  
待ったなし

戦後70年、自衛隊から1人の戦死者もださず、1人の外国人も殺さなかった日本。安保法制が「海外での武力行使」を認め、後戻りできない道にふみだそうとしています。

自衛隊が派遣されている南スーダンは、政府軍が国連PKOを襲撃するなど内戦状態。国連も「武力紛争が続いている」と報告する危険な地域です。そんなところで武器を使うことは、憲法が禁じる武力行使そのものです。

自衛隊員が「殺し、殺される」危険に直面。ひとたび相手の少年兵や民間人の命をうばってしまったらもうとりかえしがつきません。戦争法は、いますぐ廃止するしかありません。

#### 自民党改憲草案

#### 「個人」を削除、国家が国民を従わせる

憲法9条を変え、「国防軍」を明記。さらに、「緊急事態条項をくわえる」という安倍首相。緊急事態時には、内閣は国会によらず法律をだせる、基本的人権も制約できる——安倍改憲のねらいは独裁政治づくりです。

そのうえ「個人」の言葉を削除。「人間は生まれながらにしてみな平等。だから同じ人権をもつ」という「天賦人権論をとるのはやめよう」（自民議員）とあからさまに人権を敵視。戦前のよな「お国のために」をめざす改憲を許してはなりません。



2016年4・5月号外

日本共産党の見解を紹介します。あなたの意見、ご感想をおよせください。

発行●日本共産党中央委員会  
〒151-8586  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7  
TEL 03-3403-6111(代表)

日刊紙 ●月3,497円 日曜版 ●月823円  
お申し込みはお近くの党事務所または  
党员が左記の住所まで

日本共産党的活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。  
よりの党事務所か、お知り合いの党员にご連絡いただき、  
下記へお送りください。  
郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422

[www.jcp.or.jp](http://www.jcp.or.jp)

# 未来ひらく 共産党の改革プラン

安倍政権の3年間、鳴り物入りで始まったアベノミクスの破たんがハッキリしました。大企業は史上最高益で内部留保300兆円超なのに、賃金は下がりっぱなし。消費税8%で景気は悪化。「異次元の金融緩和」でもうけたのは大株主と大企業だけです。こんな不公正な社会はもうキッパリとやめるべきです。

3つの **チェンジ** で  
格差ただし、公正な社会を

## 税金の集め方 **チェンジ**

### 消費税10%中止

所得の低い人に重くのしかかる消費税。8%増税は内需を冷やし、景気を破壊。「消費は予想以上の落ち込み」と首相も失政を認めました。もう10%はキッパリ中止すべきです。それこそ最大の景気対策です。

**安倍政権のもとで…**  
超富裕層は資産**2.1倍化**  
(上位40%)  
**7.2兆円** ▶ **15.4兆円** | 貯蓄ゼロ世帯が**過去最高**  
**1422万世帯** ▶ **1892万世帯**

### 増税は富裕層から

増税するなら、アベノミクスでうるおった富裕層、大企業から。「税金は負担能力に応じて」——国民生活をささえるのに必要な財源をつくるために、「税金の集め方」を変えます。

## 税金の使い方 **チェンジ**

### 社会保障を最優先に

年金削減の中止、高すぎる医療費の窓口負担をへらす、介護保険の負担を軽くする、特養ホーム待機者の解消——税金の使い方を、暮らし優先にあらためます。

### 大学授業料10年で半額に 給付奨学金を

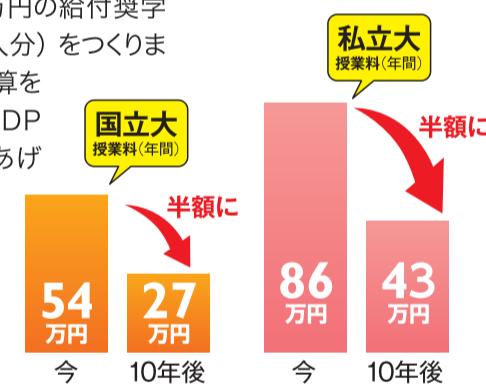
毎年1150億円の予算を「学費特別補助」として増額し、国公立も私立も段階的に学費を引き下げます。月3万円の給付奨学金制度(70万人分)をつくります。高等教育予算を先進国みなみのGDP比1.2%に引きあげれば可能です。

### 30万人分の保育園建設

「保育園落ちたの私だ」と社会問題になった待機児童は、国の責任で解決します。認可保育所を緊急に、約3000カ所増設します。保育士の賃金引き上げと待遇改善で、必要なすべての子どもが保育園に入れる日本をつくります。



「保育園落ちたの私だ、もっと保育園を」と抗議する人たち  
=3月5日、国会正門前



## はたらき方 **チェンジ**

### 最賃の抜本引き上げ

派遣法の抜本改正、同一労働同一賃金の法制化で、非正規から正社員への流れをつくります。中小企業への支援を強め、最低賃金を「いますぐ、どこでも時給1000円」に。さらに「1500円」をめざします。

### ブラック企業なくす

残業時間は「年360時間が上限」と法律に明記し、過労死まで生む異常な長時間過密労働をなくす。翌日の勤務開始まで連続11時間以上の休息時間を保障。サービス残業が発覚したら残業代を2倍にして払わせる“倍返し”——ブラック企業をこうして根絶します。

### ブラック対策はじまる 国政選挙の共産党躍進で

13年参院選 共産党は議席倍増 | 14年総選挙 共産党は2.6倍

「ブラック企業規制法案」を国会にだした直後から、厚労省が全国5000社以上に立ち入り調査。

離職率の公表やブラック企業の新卒求人拒否などさらに対策がすすむ。

### TPP 国会承認許さず、 経済主権をまもる

日本農業に壊滅的打撃をあたえ、食の安全、雇用、医療などあらゆる分野で、多国籍企業に経済主権を売りわたすTPP。国会批准は絶対に許しません。「安全な食料は日本の大地から」——日本共産党は、農業再生に力をつくします。



### 原発 再稼働ストップ 再生エネルギーを

どの世論調査でも再稼働反対が5~6割に。「安全が確保されていない」と高浜原発の即時停止を命じた大津地裁——安倍政権の「原発固執政治」は、完全に破たんしています。原発なしでもやってゆけることは、事実で証明されています。



### 沖縄 県民の総意を尊重し、 基地建設中止

銃剣とブルドーザーで住民の土地を強奪してつくられた沖縄の米軍基地。いまだ美しい辺野古の海を埋め立て、耐用年数200年の新基地まで。こんなことは絶対に許せない——これが県民の総意です。政府はアメリカに基地建設中止をキッパリ要求すべきです。

